

ラジオCMオンライン運用説明会  
「ラジオCMオンライン運用の  
“いまとこれから”」

2018.3.22

ラジオCM運行WG

末澤 淳

# 本日の説明内容

---

1. はじめに
2. スタート後の活動
3. 主な追加対応
4. 進捗状況
5. オンライン搬入への一元化
6. 現状の課題
7. オンライン運用の拡充へ向けて
8. まとめ



# 1. はじめに

## ▶ 「Radi Pos」関連の進捗

17年1～3月

17年4～9月

17年10月～18年3月

18年4～9月

テスト運用

実運用開始～運用安定化

事前登録

利用申込・普及促進

移行促進・機能拡充

オンライン一元化

業協東阪名説明会

民放連事前説明会

民放連全社説明会

業協4地区説明会

△ MO期限の周知開始

△ 民放連アンケート

△ 業協アンケート

民放連全社説明会

業協東阪名説明会

△ 新素材のMO期限

△ 既存素材のMO期限

▽ 本日

\* 3月末:MOディスク販売終了

## 2. スタート後の活動

### <初期トラブルへの対応>

#### ➤ 2017年5月～

オンライン運用後に発生した初期トラブルをEDIセンター・TypeR社と共有、合同WGで検討の上、随時対応し、不具合を解消。

#### ・ 禁則文字の警告

Macで音声ファイルをアップロードすると"禁則文字が含まれています"と警告メッセージが表示される。

→ 音声ファイル・原稿PDFをアップロードする際に文字チェックし  
Windows仕様に文字変換するように改修

#### ・ ダウンロード回数の不具合

メニューの素材リストから、まとめてダウンロードをすると、チェックを入れていない素材のダウンロード回数もカウントアップされる。

→ チェック素材のみカウントするように改修

#### ・ アップ時の原稿消失

音声ファイルをアップした時に、原稿PDFが消えてしまう。

→ 音声ファイルが未アップの状態編集する場合、音声ファイルを先にアップするよう警告の表示を追加

## 2. スタート後の活動

### <広告会社/制作会社の利用拡大>

➤ 2017年6月

利用申込が少ないローカルの広告会社、制作会社/ポスプロを拡大するために、東阪名以外の主要4地区にて説明会を実施。

#### 「ラジオCMオンライン運用説明会」

- |              |         |           |
|--------------|---------|-----------|
| ・九州(福岡)地区    | 6/12(月) | 出席102名56社 |
| ・東北(仙台)地区    | 6/19(月) | 出席 88名55社 |
| ・中国・四国(広島)地区 | 6/22(木) | 出席 86名41社 |
| ・北海道(札幌)地区   | 6/26(月) | 出席 51名32社 |

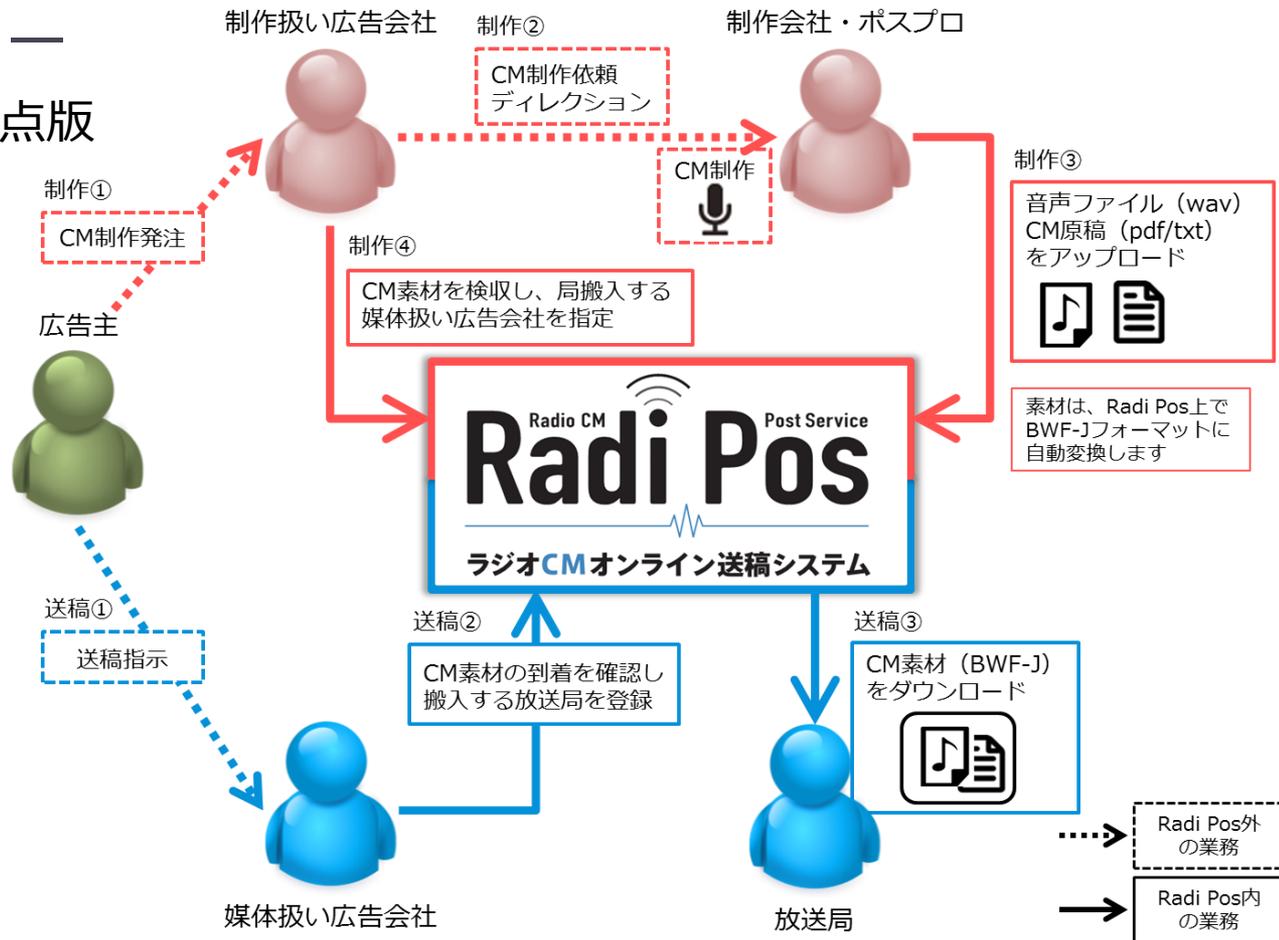
共催：日本広告業協会・(各地区広告業協会)

協力：日本民間放送連盟、日本ポスプロダクション協会、日本アド・コンテンツ制作協会

# 3. 主な追加対応

## ▶ 運用フロー

### □ 広告主起点版



広告主からの発注・指示を起点に、システム外も含めた運用全体の基礎的フローを新たに作成し、制作と送稿の二つの流れに分けて説明しやすく。



# 3. 主な追加対応

## ▶ 機能追加

### □ マルチドメイン化

**【機能追加】**  
**マルチドメイン対応に**  
**ついて**  
 参加企業各社のログインID用ドメインが複数登録可能となりました。  
 ……



利用各社のログインID用ドメインを複数登録可能に。  
 グループ会社内での共同利用がやりやすく。

## 3. 主な追加対応

### <素材制作>

#### ➤ BWF-Jファイルの生成

従来から使用されている「ラジオCMコンバータ2.0」(ポストプロダクション仕様)をWindows7で実行し、原稿PDFを一度付加した後、別の原稿PDFへの変更を行うと、チャンク情報が壊れる現象が発生することが判明。

□業協

10/31 訂正情報をHPに掲載

【ラジオ小委員会】2017.10.31  
『ラジオCMコンバーター・ソフト[ポストプロダクション仕様 Ver.2]  
の利用に関する注意とオンライン運用のお願い』

平成18年12月に、ラジオ小委員会では「ラジオCMコンバーター・ソフト」を開発し頒布いたしました。このソフトウェアはWindows XPでの動作保証をしております。

その後、平成25年6月に [ポストプロダクション仕様 Ver.2] は動作保証外を前提とした上で、Windows 7でのインストールは可能とお知らせいたしました。

平成25年6月の案内文書 <http://www.jaaa.ne.jp/2013/06/2552/>

しかしながら、Windows 7環境下でラジオCMコンバーター・ソフト[ポストプロダクション仕様 Ver.2]を用いて、原稿PDFを一度添付した後に、再び原稿PDFの差し替えを行った場合に、チャンク情報が破損する事例が発見されました。

したがって、ラジオCMコンバーター・ソフト[ポストプロダクション仕様 Ver.2]については、Windows 7などの動作保証外の環境での利用をお控え頂きますよう、何卒お願い申し上げます。

また、ラジオCMのオンライン送稿が、本年4月からスタートしました。広告EDIセンターが提供するRadi Pos (ラジ-pos) システムには、コンバーター機能が内包されております。

Windows 7でのラジオCMコンバーター・ソフト[ポストプロダクション仕様 Ver.2]の利用は控え、Radi Pos (ラジ-pos) システムを利用したオンライン運用を早急にスタートしていただきたく、よろしくお願ひ申し上げます。

### 3. 主な追加対応

---

#### <システム関連>

##### ▶ 主に放送局

ダウンロードしたBWF-JファイルをWindows Media Playerで再生できない障害。(WMP以外のプレイヤーでは再生できる)

→ 課題&対策) 16KBを超えるチャンクが複数存在する場合に生じるためひとまず、Radi Posの改修で回避対応を実施済み



#### マイクロソフト社への問い合わせ回答(要旨)

wavファイルパーサーの不具合(OSのバグ)のため  
米国本社の開発部門へ報告し、次期Windows10にて  
修正されることが決定。→ 根本的な解決となる予定

## 4. 進捗状況

### <登録・利用状況>

	登録	利用実績	
民放連放送局	101局	101局	全局ダウンロード 実績あり
民放連放送局 (広告会社機能有り)	22局	9局	実績は9局のみ
広告会社	100社	58社	登録は100社に増加 実績は58社

※制作会社・ポスプロの登録：129社

10月のMO搬入期限の発表以降、広告会社と制作会社の登録が大幅増加。  
 3月には、更に広告会社35社以上が追加登録予定。  
 広告会社の利用促進とローカルでの更なる登録拡大を重点課題として  
 取り組んでいる。

## 4. 進捗状況

### <搬入状況>

	本数	広告主数	広告会社数	民放連局数
4月	186	5	5	44
5月	312	9	4	43
6月	928	18	6	79
7月	1,809	18	9	100
8月	1,075	27	18	89
9月	<u>3,505</u>	42	18	<u>101</u>
10月	2,334	37	16	<u>101</u>
11月	2,906	50	17	<u>101</u>
12月	2,959	<u>76</u>	29	95
1月	3,322	54	27	<u>101</u>
2月	1,729	65	<u>31</u>	<u>101</u>
累計	20,997	(※) 200	(※) 58	(※) 101

※重複を除く

搬入本数は累計で2万本を超えた。月間2,000本ペースで順調に推移しており、広告主数は200社に達した。

## 5. オンライン搬入への一元化

---

### <MOの搬入期限>

民業合同WGは、2018年3月のMO販売終了を念頭に、オンライン搬入への早期一元化を目指し、2018年4月以降のMO搬入期限を設定。

- ・ 新規CM素材：2018年4月1日以降に制作した素材  
→ オンライン送稿に限定する
- ・ 既存CM素材：2018年3月31日以前に制作した素材  
→ 2018年9月30日放送分までは、MOによる搬入を認める
- ・ 在局CM素材：素材が放送局に存在し、OA実績がある素材  
→ 将来的にはオンラインへの一元化を目指す、現時点では期限を設定しない

### <関連団体への事前周知>

- ・ アド協事務局(9/21)、JPPA・WG事務局(9/26)へ説明

## 5. オンライン搬入への一元化

### <MOの搬入期限の周知>

#### □業協

10/2 告知文書をHP&会報に  
掲載

#### □民放連

10/2 告知文書をメール送信  
& HPに掲載

### <読み替え要領>

2017年3月改訂版からMO関連の  
記載を削除した搬入基準の「読み  
替え要領」を作成。

[TOP](#) > [最新情報](#)

#### 【ラジオ小委員会】2017.10.02 『ラジオCMオンライン運用について』

ラジオ小委員会では、ラジオCMオンライン運用の推進と促進を行っております。  
平成29年（2017年）4月からオンライン運用をスタートし、広告EDIセンターが運営している「ラジオCM  
オンライン送稿システム(Radi Pos/ラジポス)」の送稿本数は、既に月間1,000本を超え、全ラジオ局101  
局でオンライン運用(CM素材の局受け取り)が行われております。

このたび、日本民間放送連盟と日本広告業協会は、次のラジオCMオンライン運用にかかわる重要な事項  
を決定しました。

「ラジオCM素材搬入基準【2017年3月改訂版】読み替え要領」と「MOによるラジオCM素材の搬入期  
限について」の2点です。

ラジオCMのオンライン運用は平成30年（2018年）3月のMOディスクの販売終了に伴い、いよいよオン  
ライン運用へ一元化を行ってまいります。

ぜひ、多数の皆さまのご理解をいただき、社内のご周知を賜り安全・確実なラジオCMのオンライン運用  
に、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

#### <掲示> 2点 (PDF)

##### 【1】[ラジオCM素材搬入基準【2017年3月改訂版】読み替え要領](#)

※同基準は、2018年4月に新搬入基準を発行する準備を進めております。末年3月までの読みかえ要領とな  
ります。

##### 【2】[MOによるラジオCM素材の搬入期限について（民放連・業協ラジオCM運行合同WG/2017年10 月付）](#)

※MOディスク運用終了に伴う、暫定処置を明記してあります。

以上

一層のラジオCMのオンライン運用の普及促進に、ご理解ご協力を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ先 日本広告業協会・事務局（電話：03-5568-0876、ラジオ小委員会担当：木村）

## 6. 現状の課題

---

### <運用関連>

#### ➤ 共通

MOの受入体制を維持し続けるのは困難であるが、受入終了にはある程度の準備期間が必要。次は期限を決めていない在局素材をオンライン化する作業・費用、バックアップ運用などの検討。

→ 課題&対策) MO搬入期限を確定、余裕を持って事前周知 ※対応済み

#### ➤ 放送局

各局で異なるダウンロード後の運用（素材の取り込み、ファイリング等）  
考査・素材注意情報の取り扱い

→ 課題) ダウンロード後の局内ファイル運用との整合  
共通考査ガイドの作成 ※搬入基準で対応

#### ➤ 広告会社

既存素材のある広告主のオンラインへの移行促進

→ 課題) 作業・コストの極小化、共通コード利用のメリット拡大

## 6. 現状の課題

---

<民放連アンケートから抜粋> ※10月実施：ラジオ全局

➤ 「Radi Pos」について

- ・ CM進行表の共通コード管理：賛成53社、どちらとも言えない44社
- ・ CM枠情報と素材の紐づけ：利用33社、どちらとも言えない58社

→ 課題) 機能拡充の具体的説明による理解促進

➤ 搬入状況

- ・ 搬入手段：オンライン1~4割68社、MO7割以上52社、  
その他4割以上29社

→ 課題) MO以外の搬入手段からオンラインへの切り替え促進

➤ その他

- ・ 営放システム更新時期：2017~20年が30社
- ・ 完調なMO機器の台数：1~5台が58社

→ 課題) 営放システム連携の整備、MOからの切り替えともに待ったなし

## 6. 現状の課題

---

<業協アンケートから抜粋> ※12月実施：ラジオCM扱いあり77社

➤ 「Radi Pos」について

- ・ 共通コード：取得57社、未取得20社
- ・ オンライン送稿：契約済み34社、今後対応42社

→ 課題) 共通コードの取得促進、Radi Posの登録促進

➤ 搬入状況(4~9月) 回答54社

- ・ 搬入手段：オンライン 5割未満11社 / 5割以上 4社、  
MO 5割以上48社、MO以外あり 4社

→ 課題) Radi pos利用によるオンラインへの切り替え促進

➤ その他

- ・ 進行表オンライン運用：利用意向57社、どちらとも言えない11社

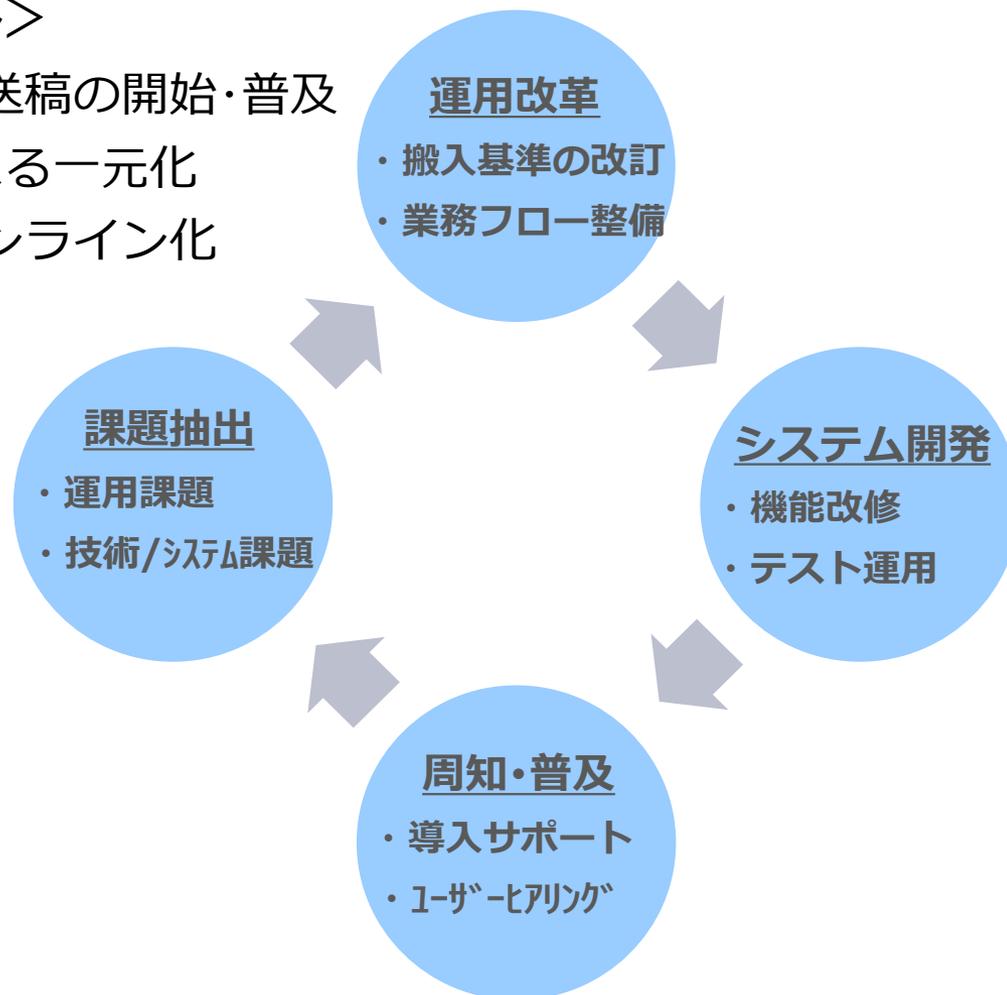
→ 課題) 具体的なサービス内容・課金方法などの検討

\* 別途、各地区業協によるアンケートも実施 (22団体150社回答)

## 7. オンライン運用の拡充に向けて

### <運用進化のサイクル>

- ・ 2017年度 オンライン送稿の開始・普及
- ・ 2018年度 MO終了による一元化  
進行表のオンライン化
- ・
- ・
- ・



## 7. オンライン運用の拡充に向けて

---

### 【運用改革の目的】

送稿以外の機能を拡張することで、更に簡便で安全安心なシステム運用を実現し、ユーザーと利用方法を拡大する。

### <オンラインへの一元化>

- ・ 搬入基準外の素材への対応

MOの搬入期限終了後は、多くの既存素材をオンライン化する必要が生じるため搬入基準の策定以前に制作された素材も対象と意識して、簡易にオンライン化できる機能を追加することで、移行のハードルを下げる。  
300秒以上も認める等により、対象素材を拡大する。

- ・ 非ユーザーの取り込み

MO以外の搬入方法からオンラインへの移行も想定し、利便性を高めていく。  
中小の広告会社・制作会社の取り込み、招待機能でのオンライン活用を推進する。

## 7. オンライン運用の拡充に向けて

---

### <搬入基準の改訂>

オンライン搬入への早期一元化を目指して設定したMO搬入期限を反映し、搬入基準を改訂【2018年3月改訂版】。

#### 主な変更点

- ・ MO関連記述の削除  
既存素材の搬入期限となる10月1日から適用
- ・ 搬入手段の禁止事項を図案で表記（CD、メール添付、一般のクラウドサービス）
- ・ 「クレジット例」「略号」を追加  
CM制作・CM進行で使用する「クレジット」と「略号」の説明を追加
- ・ 「CM進行表」の改訂  
オンライン一元化に伴い「種別」欄を削除。4週分から5週分へ変更
- ・ 「考査ガイド」の追加  
新規広告主向けに民放連・ラジオCM運行WG作成の「考査ガイド」を追加

## 7. オンライン運用の拡充に向けて

---

### 【システム開発】

説明会やアンケート等で集めた情報を元に優先順位を付けて機能改修を進めている。

#### 年度内

- ・ 搬入基準のチェック機能の向上  
素材が搬入基準に適合しているか確認する  
例えば、bc\$standby前に18秒以上の長さのファイルがあるかなど
- ・ 原稿PDFへのアクセス方法改善  
放送局の素材到着リストから1クリックで原稿PDFを参照可能に  
(現状は1素材ずつ画面遷移)

#### 来年度期初

- ・ 独自ドメインなしユーザー登録  
独自ドメインを持たない小規模事業社をユーザー登録する
- ・ 搬入基準外素材の適合化処理  
音楽CDやmp3ファイルで搬入される前に音声ファイルの適合化を行う

## 7. オンライン運用の拡充に向けて

---

### <進行表のペーパーレス運用>

- ・CM素材と進行表の一体運用の確保

CM素材のオンライン送稿で、素材と進行表が別搬入になったため放送局側で確認・照合等の作業負荷増となる場合もでてきた。

また、依然としてアナログ運用による手作業が放送局・広告会社双方で残っている。オンラインによる一体運用を行うことで、効率的な作業フロー、働き方改革に結びつけたい。

### <割付作業の負荷軽減>

- ・データ取り込みへの対応

放送局は広告会社からの進行表到着後、営放システム(EDPS)に手動で割付作業をする場合が多い。この手作業を解消するには、進行表のペーパーレス化＝PDFファイル化に留まらず、進行表データをEDPSに取り込み可能にすることが必要となる。

(EDPSのリプレイスや改修の際にデータ取込に対応できれば、割付作業の効率化も可能)



## 7. オンライン運用の拡充に向けて

---

### ＜EDIとの連携＞

現状は一部の放送局・広告会社にユーザーが限定され、対象もスポットのみ。進行表のペーパーレス化、割付情報の共有など「Radi Pos」の機能改修に合わせて、次のステップを設定する。

### ポイント

- ・ EDIの機能拡張は時間と費用が掛かるため、実施するにはユーザー拡大などコスト回収の見込みが必要となる。
- ・ EDIをRadi Posへ機能統合すれば、将来的なEDIユーザーの拡大を期待できる。
- ・ Radi Posの機能改修によって、現在のEDIユーザーの利便性を損なわないよう配慮する。

## 8. まとめ

---

4月のオンライン運用開始から約一年が経過し、オンライン送稿は着実な拡大傾向にあり、MOによる搬入終了への道筋をつけることができた。

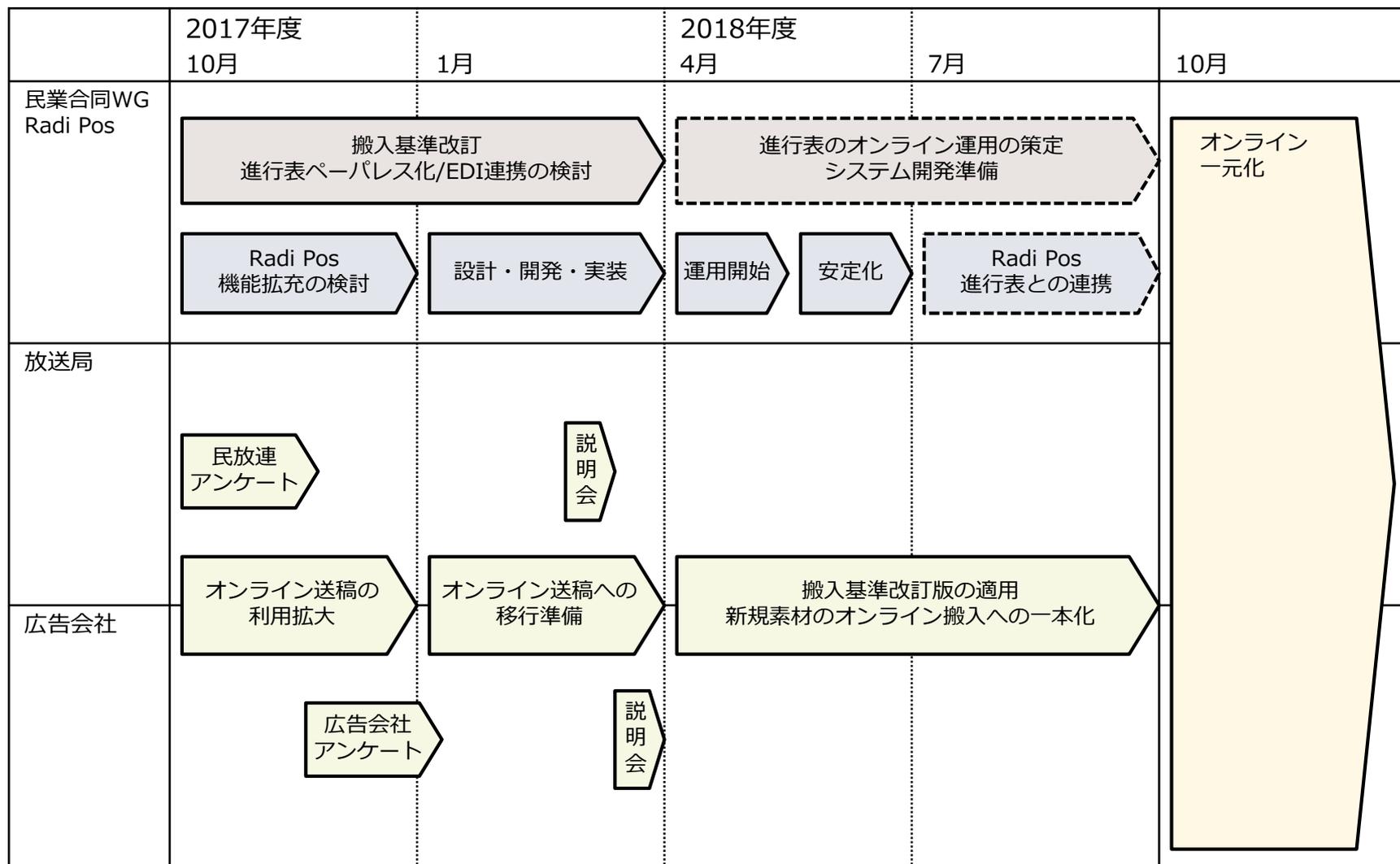
その後の民放連・業協での検討を受けて、MOの搬入期限を確定し、10月から周知を開始したことで、来年度のオンライン運用一元化への備えを促している。

現在、MOの販売終了後の4月に向けて、民放連・業協が推進役となってシステムの一部改修、機能の拡充を図っており、「Radi Pos」を更に多くのユーザーがより幅広い場面で活用できるように進行表との連携など、使い勝手の向上を計画している。

引き続き、全てのラジオCM関係者の業務改革につながるようラジオ局・制作会社と協力してオンライン化を加速していきたい。

---

# スケジュール



# 推進体制

